

高橋士郎 古事記展 神話芸術テクノロジー 関連イベント

記念シンポジウム

日時 10月4日(日) 14:00~16:00 (13:30開場)

場所 岡本太郎美術館ガイダンスホール

料金 無料 定員 70名(当日先着順)

テーマ

「神話とアート—記憶と創造の未来に向けて」

パネラー

伊藤 俊治 (東京藝術大学教授)
平藤喜久子 (國學院大学教授
日本文化研究所所長)

司会

港 千尋 (多摩美術大学教授)

内容

古事記に描かれる神々が、今日のテクノロジーをとおし驚くべき姿で現れる展覧会に際し、アートと神話をテーマにした記念シンポジウムを開催します。太古の神話はなぜこれほどわたしたちの想像力を刺激し、現代の文化に活力を与えつづけるのでしょうか。美術、演劇、舞踏、音楽など多様な表現が伝える奇想天外な物語は、いかに現代社会にとって重要であるのでしょうか。日本、アジアそして世界の神話と今日のアートをめぐり、最新の研究や動向も含めて、大いに語り合う機会にしたいと思います。

お問い合わせは 川崎市岡本太郎美術館
〒214-0032 川崎市多摩区柁形 7-1-5 生田緑地内

TEL 044-900-9898
FAX 044-900-9966
<https://www.taromuseum.jp/>

